613-000686 Rev.B 070622

最初にお読みください

Allied Telesis

CentreCOM® AR260S V2 リリースノート

この度は、CentreCOM AR260S V2 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（613-000684 Rev.A）とリファレンスマニュアル（613-000685 Rev.B）の補足や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ファームウェアバージョン　2.0.0

2　本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 2.0.0 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

2.1　URL フィルター

参照「リファレンスマニュアル」/「5.9 URL フィルターの設定」

URL フィルター機能が追加されました。URL 文字列と比較するキーワードを指定して、条件にマッチした HTTP パケットの破棄 / 通過を制御できます。

2.2　DoS 攻撃検出

参照「リファレンスマニュアル」/「5.10 DoS 検出の設定」

DoS 攻撃検出 / 破棄機能が追加されました。なお、攻撃検出は WAN インターフェースからの受信に対して行われ、検出後の動作として破棄 / 通過を設定できます。

2.3　IPsec：DPD による IKE キープアライブ

参照「リファレンスマニュアル」/「6.2 VPN の設定」

IKE キープアライブとして RFC3706 DPD（Dead Peer Detection）を追加しました。VPN ポリシーごとに有効 / 無効、R-U-THERE メッセージの送信間隔、応答失敗回数を設定できます。

2.4　IPsec SA 寿命のサイズによる指定

参照「リファレンスマニュアル」/「6.2 VPN の設定」

IPsec SA の寿命指定に、有効期限のほかに通信データサイズが指定可能になりました。有効期限と通信データサイズを同時に指定することも可能です。

2.5　セルフアクセスの送信元の範囲指定

参照「リファレンスマニュアル」/「5.4 セルフアクセスルールの設定」

セルフアクセスの送信元の指定に範囲指定（始点 IP アドレス、終点 IP アドレス）が可能になりました。

2.6　スタティック NAT の宛先 IP アドレス指定

参照「リファレンスマニュアル」/「5.5 NAT の設定」

NAT 機能のスタティック NAT 設定時に宛先 IP アドレスを指定できるようになりました。これによって同一の端末が通信するネットワークによって NAT の有無、もしくは NAT 後のアドレスを個別に設定できます。

3　本バージョンで仕様変更された機能

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 2.0.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が仕様変更されました。

3.1　Web GUI に関する変更

Web GUI に対して以下の修正、および改善を行いました。

○　TAB キーによる入力フォーカスの移動が可能になりました。

○　PPPoE 設定を無効にしたとき、PPPoE 設定をクリアできるようになりました。

○　システムの復元（「システム管理」-「システムの設定」）の画面で、「設定ファイル更新後、自動的に再起動する」を選択できるようになりました。

3.2　IPsec 対象パケットの扱いに関する仕様変更

参照「リファレンスマニュアル」/「6.2 VPN の設定」

IPsec ポリシーで設定されているネットワーク通信の平文パケットが ESP パケットの送出インターフェース（eth0, pppoe0, pppoe1）宛に受信された場合、破棄するように仕様変更しました。

3.3　その他

○　NTP/syslog/SNMP トラップの送信元 IP アドレス指定（自動 /WAN/LAN）が可能になりました。

○　「システム管理」-「テクニカルサポート」-「情報の取得」が追加されました。

4　本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 2.0.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

4.1 Pingを送信したとき、ファイアウォールやNATによってパケットが破棄された場合に誤ったメッセージが表示されていましたが、これを修正しました。

4.2 WAN、LAN、およびVPNの統計情報で、マイナスの値が表示されることがありましたが、これを修正しました。

4.3 IPsec経由でインターフェースMIBが取得できませんでしたが、これを修正しました。

4.4 SNMPのコミュニティー名が32文字以上の場合、SNMP Get/Get Nextリクエストに対して認証に失敗し、応答しませんでしたが、これを修正しました。

4.5 LANポート1がリンクしている場合、パフォーマンスが低下することがありましたが、これを修正しました。

4.6 PPPoEの「DNSオプション」を固定設定にした後に自動取得に変更すると、DNSサーバーへの問い合わせが、変更前と変更後の両方のアドレスに送信されていましたが、これを修正しました。

4.7 PPPoEにおいて、割り当てられたIPアドレスがすでに存在するインターフェースのIPアドレスと同一であっても、IPアドレスが設定されていましたが、これを修正しました。

4.8 PPPoEの接続設定がダイアルオンデマンドの時、PPPoEインターフェースがリンクダウンしてもISAKMP/IPsec SAが消えませんでしたが、これを修正しました。

4.9 PPPoEにおいて、PADTパケットを受信した場合、本製品がPADTパケットを送信していませんでしたが、これを修正しました。

4.10 PPPoEの接続設定がダイアルオンデマンドのとき、DNS問い合わせパケットによってPPPoEセッションが接続されませんでしたが、これを修正しました。

4.11 PPPoEキープアライブが動作せず、PPPoEセッションの再接続が行われない場合がありましたが、これを修正しました。

4.12 アンナンバードPPPoE有効時、セルフアクセス制御の設定、およびNATのポートフォワーディングの設定が反映されませんでしたが、これを修正しました。

4.13 Gratuitous ARPのソースIPアドレスが0.0.0.0の時にパケットを破棄し、重複アドレスが検出できない場合がありましたが、これを修正しました。

4.14 ファイアウォールの「送信元ポート」および「宛先ポート」を範囲指定する場合、「終点ポート番号」よりも「始点ポート番号」が大きい値を設定した際に誤ったエラーメッセージが表示されていましたが、これを修正しました。

4.15 IPsecの対象となる通信を継続した状態でIPsecの設定変更を行った場合、エラーのウィンドウが表示され、設定が反映されないことがありましたが、これを修正しました。

5　取扱説明書とリファレンスマニュアルについて

最新の取扱説明書（613-000684 Rev.A）とリファレンスマニュアル（613-000685 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されています。
本リリースノートは、上記の取扱説明書とリファレンスマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書、リファレンスマニュアルが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

http://www.allied-telesis.co.jp/